

千葉大学医学部附属病院で経皮的動脈弁置換術をされた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025年9月12日

麻酔・疼痛・緩和医療科/心臓血管外科

麻酔・疼痛・緩和医療科では、経皮的動脈弁置換術の術後心筋障害に対する吸入麻酔と全静脈麻酔の比較に関する研究を行っており、以下に示す方の療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2023年4月1日～2025年7月31日の間に全身麻酔下に経皮的動脈弁置換術をされた方

1. 研究課題名

「経皮的動脈弁置換術の術後心筋障害に対する吸入麻酔と全静脈麻酔の影響」

2. 研究期間

2025年承認日～2027年3月31日

この研究は、千葉大学附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

経皮的動脈弁置換術（TAVI）において周術期心筋障害は予測されうる合併症の一つです。吸入麻酔薬には心筋保護作用があることが知られており、特に心臓手術において全静脈麻酔と比較して心臓バイオマーカーの放出を減少させることが示されています。本研究は当院で TAVI を受けた成人患者様を対象に診療録を後ろ向きに解析し、吸入麻酔薬を用いた麻酔管理が周術期心筋障害に影響を与えるかの調査を行います。本研究では術後の心臓バイオマーカーの変化に吸入麻酔薬と静脈麻酔薬での管理が影響を与えるかを検討します。この研究により、麻酔薬の選択と経皮的動脈弁置換術後の心筋障害の関係を検証で

ければ、安全な麻酔管理に役立てることができると考えられます。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録に記載されている身長、体重、病歴、血液検査値、心臓エコー記録、周術期リスクスコア、フレイルスコア、麻酔記録、手術記録、術後合併症、在院日数

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：麻酔・疼痛・緩和医療科 助教 孫 慶淑

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院 麻酔・疼痛・緩和医療科 において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

麻酔・疼痛・緩和医療科 助教 石川秀爾

043（222）7171 内線 6774